

青森県立中央病院「がんと闘う体制づくり」

な課題になつてゐる病に対しても、

県として県民の皆様方とともに、「戦う」という言葉が適切かどうかなど

いうことはありますけれども、「戦いたい」という気持ちを込め

たものであります。

青森県HPから抜粋引用

成28年3月まで青森県立中央病院長。国立がんセンター東病院の

名譽院長でもある。

病床数694床、職員数135人(平成27年4月1日)と、県内最大の規模をもつ青森県立中央病院(以下、県病)。平成19年3月15日、県の病院事業管理者として国立がんセンター東病院長だった吉田茂昭氏を招聘することを発表した。

【知事会見】

吉田氏は、長らく国立がんセンターにおいて、がん医療分野で活躍され、わが国のがん医療分野の発展に大きく寄与してこられた、言わばこの分野の第一人者でもございます。吉田氏のご就任によりまして、わが国最先端の医療を広く医療関係者はじめ、県民の皆様方に触れていたただくことが可能となり、本県がん医療の充実が図られ、短命県克服への大きな力となるものと考えております。がんという本県における一番大き

吉田茂昭氏は日本のがん医療の世界では知られた存在だ。その経歴を紹介すると、昭和46年に北海道大学医学部を卒業後、釧路労災病院勤務から昭和49年に国立がんセンターに移籍。その後、平成16年には国立がんセンター東病院長に就任した。日本胃癌学会名誉会長や薬事・食品衛生審議会委員(医薬品第二部会長)など歴任。専門はGI Oncology(消化器癌の内視鏡診断、内視鏡治療、化学療法、腫瘍生物学)。平成19年4月から青森県病院事業管理者、平

**青森県は男女とも
平均寿命最下位の短命県！
がんは、死因の第1位！**

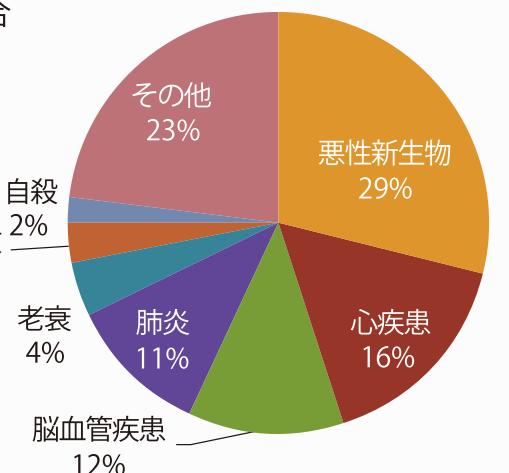
県民の平均寿命は、1位の長野県と比べると男性は約3歳近く離れており、死因を探つてみると青森県では、がんが死因の第1位で(昭和57年以降)年間約4千～5千人の県民が、がんで亡くなっているのだ。がん死亡率は、男性は40歳代、女性は50歳代から全国との差が顕著となり、比較的若い世代からがん死亡率が全国を上回る状態にあり、青森県の平均寿命に大きな影響を与えていることがわかる。

県は開設以来の赤字脱却と不名誉な短命県返上の切り札として吉田氏を迎えた。自治体病院の開設者である知事に代わって病院事業管理者が権限をもつことになる。わかりやすくいふと、「吉田先生、あなたにすべておまかせいたします」ということだけです。

県病は平成20年4月1日をもつて院内組織を大きく改編した。青森県立唯一の総合病院として、

政策医療の中核である「4疾病5事業」すなわち「4疾病」①がん、②脳卒中、③急性心筋梗塞、④糖尿病と、「5事業」①救急医療、②災害時医療、③へき地医療、④周産期医療、⑤小児医療について、青森県の医療の基幹的な役割を担う再スタートとなる。

この年、がん診療センター、循環器センター、脳神経センターの3つのセンターを立ち上げた。次いで、平成22年1月には「糖尿病センター」を立ち上げて、4疾病に対する4つの拠点がそろつた。



こちらの表は、都道府県の平均寿命ランクインである。下位5県の中でも、男女ともに断トツで低い結果となっており、平均を大きく下回っている。

平成22年 都道府県別平均寿命 (単位:年)

順位	男		女	
	都道府県	平均寿命	都道府県	平均寿命
…	全 国	79.59	全 国	86.35
1	長 滋 福 熊 本	80.88	長 島 冲 熊 新	87.18
2	野 賀 井 本	80.58	野 根 繩 本 潤	87.07
3	80.47	87.02		
4	80.29	86.98		
5	80.25	86.96		
43	長 福 岩	78.88	岩 手	85.86
44	崎 島	78.84	茨 城	85.83
45	手 田	78.53	和 歌 山	85.69
46	秋 青	78.22	木 森	85.66
47	森	77.28	青	85.34

また、5事業については、平成23年5月には①救命救急センターの増改築工事が竣工し、同年6月よりドクターヘリの運航を開始していたが、平成24年10月からの②県内二機体制実施に伴い、救急医療の一層の基盤強化を図り、災害医療の拠点機能の整備充実を図ることになった。

